

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 1 月 26 日 (2017.1.26)

【公表番号】特表 2015-536751 (P2015-536751A)
 【公表日】平成 27 年 12 月 24 日 (2015.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-081
 【出願番号】特願 2015-546144 (P2015-546144)
 【国際特許分類】

A 6 1 G 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱制御された領域を有する乳児ケア医用デバイスを傾動させるシステムであって、
 支持構造体と、
 前記支持構造体上に取り付けられ、乳児を前記熱制御された領域内に支持し、傾動軸の
 周りを旋回する傾動プラットフォームと、
 前記傾動プラットフォームの回転位置を、前記傾動軸に対し選択的に調節する傾動機構と

、

前記傾動プラットフォームに結合されるアクチュエータと、

前記傾動プラットフォームと前記支持構造体との間に配置されるダンパと、

を含み、

前記傾動機構は、前記傾動プラットフォームと前記支持構造体との間に配置され、前記支持構造体から遠ざかって延び、前記支持構造体に対して固定位置に留まり、

前記傾動軸は、前記支持構造体に対して固定位置に留まり、

前記アクチュエータは、前記傾動プラットフォームが前記傾動軸の周りを自由に旋回できないように、前記傾動プラットフォームを前記傾動軸に対する回転位置にロックし、前記傾動プラットフォームが前記傾動軸の周りを旋回できるように、ロックされた前記回転位置から前記傾動プラットフォームをロック解除するように動作可能であり、

前記ダンパは、前記傾動プラットフォームに結合され、前記傾動プラットフォームが前記傾動軸の周りを旋回する際の前記傾動プラットフォームの旋回運動を減衰させる、システム。

【請求項 2】

前記傾動機構は、前記傾動プラットフォームと前記支持構造体との間に配置される第 1 の支持体を含み、前記第 1 の支持体は、ピボットにおいて前記傾動プラットフォームに回転自在に結合される 1 つの端を有し、前記傾動プラットフォームの前記傾動軸の周りの旋回運動を容易にする、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記アクチュエータ及び前記ダンパは、前記傾動プラットフォームの第 1 の側に配置され、前記傾動機構は更に、前記支持構造体と前記傾動プラットフォームとの間に配置される第 2 の支持体を含み、前記傾動プラットフォームは、前記傾動プラットフォームの前記第 1 の側の反対側である第 2 の側で、前記第 2 の支持体に回転自在に結合され、前記第 2 の支持体

は、前記傾動プラットフォームの前記傾動軸の周りの旋回運動を容易にするように上方向及び下方向に移動し、前記第２の支持体が、ロックされた位置において上方向又は下方向に自由に移動できないように、ある位置にロックするように動作可能である、請求項２に記載のシステム。

【請求項４】

前記アクチュエータは、前記第２の支持体に動作可能に接続され、前記アクチュエータは、前記第２の支持体に接続されるリンク部材を介して、前記第２の支持体をロック及びロック解除する、請求項３に記載のシステム。

【請求項５】

前記アクチュエータは、作動ハンドル及びレバーを含み、前記作動ハンドルは、前記傾動プラットフォームの旋回運動を容易にするように作動力が加えられることを可能にし、前記リンク部材に動作可能に接続される前記レバーは、前記リンク部材を操作することによって、前記第２の支持体をロック及びロック解除する、請求項４に記載のシステム。

【請求項６】

傾動軸の周りを傾動する傾動プラットフォームと、支持構造体と、アクチュエータと、傾動機構と、前記傾動プラットフォームと前記支持構造体との間に配置されるダンパとを有するシステムを使用して、熱制御された領域を有する乳児ケア医用デバイスを傾動させる方法であって、

前記傾動プラットフォームを、前記傾動軸の周りを旋回させるように、前記アクチュエータを使用して、前記傾動プラットフォームを解放するステップと、

傾動機構を用いて、前記傾動プラットフォームの回転位置を、前記傾動軸に対し選択的に調節するステップと、

前記傾動プラットフォームが前記傾動軸を旋回するにつれて、前記ダンパを使用して前記傾動プラットフォームの旋回運動を減衰させるステップと、

前記傾動プラットフォームを、前記傾動軸に対する選択された回転位置にロックするステップと、

を含み、

前記傾動機構は、前記傾動プラットフォームと前記支持構造体との間に配置され、前記支持構造体から遠ざかって延び、前記支持構造体に対して固定位置に留まり、

前記傾動軸は、前記支持構造体に対して固定位置に留まる、方法。

【請求項７】

前記傾動機構は、前記傾動プラットフォームと前記支持構造体との間に配置される第１の支持体を含み、前記支持体は、ピボットにおいて前記傾動プラットフォームに回転自在に結合される１つの端を有し、前記傾動プラットフォームの前記傾動軸の周りの旋回運動を容易する、請求項６に記載の方法。

【請求項８】

前記アクチュエータ及び前記ダンパは、前記傾動プラットフォームの第１の側に配置され、前記傾動機構は更に、前記支持構造体と前記傾動プラットフォームとの間に配置される第２の支持体を含み、前記傾動プラットフォームは、前記傾動プラットフォームの前記第１の側の反対側である第２の側で、前記第２の支持体に回転自在に結合され、前記第２の支持体は、前記傾動プラットフォームの前記傾動軸の周りの旋回運動を容易にするように上方向及び下方向に移動し、前記第２の支持体が、ロックされた位置において上方向又は下方向に自由に移動できないように、ある位置にロックするように動作可能である、請求項７に記載の方法。

【請求項９】

前記アクチュエータは、前記第２の支持体に動作可能に接続され、前記アクチュエータは、前記第２の支持体に接続されるリンク部材を介して、前記第２の支持体をロック及びロック解除する、請求項８に記載の方法。

【請求項１０】

前記アクチュエータは、作動ハンドル及びレバーを含み、

前記作動ハンドルは、前記傾動プラットフォームの旋回運動を容易にするように作動力が加えられることを可能にし、

前記リンク部材に動作可能に接続される前記レバーは、前記リンク部材を操作することによって、前記第 2 の支持体をロック及びロック解除する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

熱制御された領域を有する乳児ケア医用デバイスを傾動させるシステムであって、
支持手段と、

前記支持手段上に取り付けられ、乳児を前記熱制御された領域内に支持し、傾動軸の周りを旋回するプラットフォーム手段と、

前記プラットフォーム手段の回転位置を、前記傾動軸に対し選択的に調節する傾動手段と

、

前記プラットフォーム手段に結合される作動手段と、

前記プラットフォーム手段と前記支持手段との間に配置される減衰手段と、

を含み、

前記傾動手段は、前記プラットフォーム手段と前記支持手段との間に配置され、前記支持手段から遠ざかって延び、前記支持手段に対して固定位置に留まり、

前記傾動軸は、前記支持手段に対して固定位置に留まり、

前記作動手段は、前記プラットフォーム手段が前記傾動軸の周りを自由に旋回できないように、前記プラットフォーム手段を前記傾動軸に対する回転位置にロックし、前記プラットフォーム手段が前記傾動軸の周りを旋回できるように、ロックされた前記回転位置から前記プラットフォーム手段をロック解除し、

前記減衰手段は、前記プラットフォーム手段に結合され、前記プラットフォーム手段が前記傾動軸の周りを旋回する際の前記プラットフォーム手段の旋回運動を減衰させる、システム。

【請求項 12】

前記傾動手段は、前記プラットフォーム手段と前記支持手段との間に配置される第 1 の支持手段を含み、前記第 1 の支持手段は、ピボットにおいて前記プラットフォーム手段に回転自在に結合される 1 つの端を有し、前記プラットフォーム手段の前記傾動軸の周りの旋回運動を容易にする、請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記傾動手段は更に、

前記プラットフォーム手段の前記傾動軸の周りの旋回運動を容易にするように上方向及び下方向に移動し、

前記傾動手段が、ロックされた位置において上方向又は下方向に自由に移動できないように、ある位置にロックする、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記作動手段は、前記傾動手段に動作可能に接続され、前記作動手段は、前記傾動手段に接続されるリンク部材を介して、前記傾動手段をロック及びロック解除する、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記作動手段は、前記プラットフォーム手段の旋回運動を容易にするように作動力が加えられることを可能にし、前記リンク部材を操作することによって、前記ピボットをロック及びロック解除する、請求項 14 に記載のシステム。